

2024年度 神奈川県委託事業  
重度重複障害者等支援看護師養成研修(普及啓発事業)

重症心身障がい児 の 理解  
～NICUでの医療をとおして～

おだわら看護専門学校 学生のみなさまへ

近年、医療の高度化によって新生児の死亡率は低くなりました。しかし、一方では医療的ケア児や重症心身障がい児など障害や医療ケアを必要とする児が増えています。

神奈川県では、こうした状況にある子どもたちの生活・成長を支援できる看護師の養成と確保を急務とし、看護職の就業者を増やすための事業を行っています。

そこで私たち神奈川県看護協会では、神奈川県からの事業委託を受け、平成27年度から本研修を開催しています。この機会に、ぜひ、未来を担う子どもたちや支える家族の状況を見ていただき、日々の暮らしや看護での支援を考えてほしいと思います。

日時 **10/4** (金) 10:50～12:20

講師 **豊島勝昭** 氏

神奈川県立こども医療センター 新生児科部長

豊島先生が勤務する新生児科は、未熟児や先天的な障がいのある新生児など生まれてすぐに治療が必要な赤ちゃんの診療をしています。

講義では、豊島先生が監修したTBSテレビ 金曜ドラマ「コウノドリ」の場面を見ながら日々の治療の様子をお話いただきます。NICU(新生児集中治療室)での治療、ケアを受ける子どもたちと家族、関わるスタッフの現状を知り、障がいや命の大切さ・輝きを見つめる時間になると思います。

あなたは手のひらに収まる

「ペットボトル一本分の重さで生まれてくる赤ちゃん」を

想像することができますか？

